

第5学年 生命のつながり「植物の花のつくりと実や種子」

組 番 氏名

- 1 花のつくりについて、次の文の()に正しい言葉を入れ、文章を完成させましょう。
- (1) アサガオでは、花の中心部に()が1本あり、そのまわりを5本程度の()が取り囲むようについている。
- (2) 開いている花のおしべの先についていた粉のようなものを()という。またこの粉のようなものがめしべの先につくことを()という。
- (3) ツルレイシやヘチマは、別々の花におしべとめしべがついている。おしべだけがついている花を()、めしべだけがついている花を()という。
- (4) 植物の花粉は虫や鳥、()などによって運ばれる。
- (5) 植物の多くは、成長すると花がさく。花がさき終わるとめしべのもとが成長して()ができる。そしてその中に()ができる。

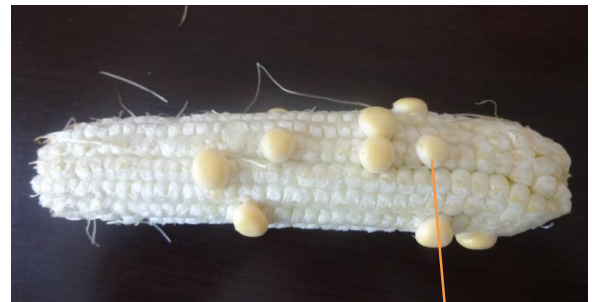
2 右の写真に写っている、このひげのようなもの1本1本がトウモロコシのめしべです。トウモロコシはめばながたくさん集まってできたものです。

では、下の写真のような、実ができた部分と実ができなかった部分のあるトウモロコシができたのは、なぜでしょうか。下の()の中の言葉を使って□の中に説明を書きましょう。



ひげのよう
なもの

(受粉 おばな めばな 花粉)



このひげのようなもの1本1本がめしべでトウモロコシはめばながたくさん集まってできたもの

受粉しためばなだけに実ができる

第5学年 生命のつながり「植物の花のつくりと実や種子」(解答)

組 番 氏名

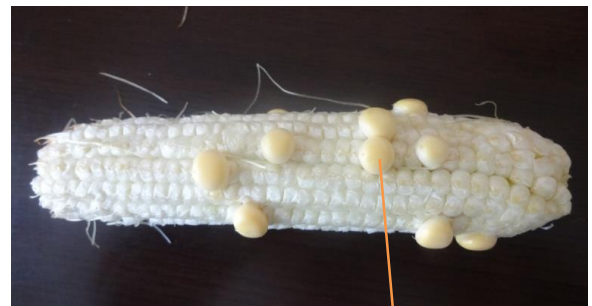
- 1 花のつくりについて、次の文の()に正しい言葉を入れ、文章を完成させましょう。
- (1) アサガオでは、花の中心部に(めしべ)が1本あり、そのまわりを5本程度の(おしべ)が取り囲むようについている。
- (2) 開いている花のおしべの先についていた粉のようなものを(花粉)という。またこの粉のようなものがめしべの先につくことを(受粉)という。
- (3) ツルレイシやヘチマは、別々の花におしべとめしべがついている。おしべだけがついている花を(おばな)、めしべだけがついている花を(めばな)という。
- (4) 植物の花粉は虫や鳥、(風)などによって運ばれる。
- (5) 植物の多くは、成長すると花がさく。花がさき終わるとめしべのもとが成長して(実)ができる。そしてその中に(種子)ができる。

2 右の写真に写っている、このひげのようなもの1本1本がトウモロコシのめしべです。トウモロコシはめばながたくさん集まってできたものです。



では、下の写真のような、実ができた部分と実ができなかった部分のあるトウモロコシができたのは、なぜでしょうか。下の()の中の言葉を使って□の中に説明を書きましょう。

(受粉 おばな めばな 花粉)



このひげのようなもの1本1本がめしべでトウモロコシはめばながたくさん集まってできたもの

受粉しためばなだけに実ができる

おばなの花粉がめしべの先につき受粉しためばなは実ができるが、花粉がめしべの先につかなかつめばなは実ができないので、写真のようなトウモロコシができる。